

鎌倉殿の主侍医

理事 鈴木 勇 三



先生方、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を
観ていらっしゃるでしょうか？13人には
入っておりませんが、鎌倉殿の主侍医の話
をしたいと思います。

私の父の実家は、伊豆大仁町（現在伊豆の
国市）で代々医家をしておりました。医家の
始まりは遡ること鎌倉時代の田代冠者信綱で
す。田代冠者信綱は、小松帯刀著の「聖医永田
徳本伝」によると、治承4（1180）年頼朝挙兵
時から終始頼朝に属従しており、医術の心得が
あり、頼朝の主侍医であったと記されています。

田代冠者信綱は、後三条天皇の後胤である
伊豆国守藤原為綱と伊豆の有力武将である工
藤（狩野）介茂光の娘との子です。工藤（狩野）
介茂光は体重が100kg以上の巨漢で、大河ド
ラマではハリウッド俳優の米本学仁が演じて
いました。石橋山の合戦では、その巨漢が災
いし山中で歩行不能となり自害しました。そ
の介錯をしたのが孫である田代冠者信綱でし
た。日本画の狩野派は工藤（狩野）茂光の末
裔です。

石橋山の合戦で大敗した頼朝軍は、湯河原
山中にあるしとどの巖に隠れたのち、主従八
騎のみとなり船で安房へ逃亡を計りますが、

頼朝が八騎は源氏にとって不吉な数と言っ
て一騎に下船を命じ、七騎だけで船に乗りま
した。これが能楽の曲目にある「七騎落ち」で
す。この七騎のうちの一騎の若武者が田代冠
者信綱でした。この件に関して三谷幸喜さん
は端折ってしまい残念でした。

頼朝が鎌倉に入ってから田代信綱は、頼
朝の命を受けて源義経の軍監として源義仲討
伐や平家追討を行いました。三草山の戦いで
は、義経に夜打ちを進言し勝利に導いたと平
家物語に記されています。その後、一の谷の
戦いや屋島の戦いにも義経に同行しています。
鎌倉大町にある安養院は別名田代寺といい、
田代信綱が建立したものに始まるとされてい
ます。

田代信綱の子孫は代々医家を継承しており、
そのうちの一人が日本中医学の開祖で医聖と
称された田代三喜です。三喜は明に渡航し、李
朱医学を学び帰り、鎌倉円覚寺や足利学校で
医術を指導したとされています。弟子の一人が
織田信長らの診察を行った曲直瀬道三です。

この田代信綱の末裔である父の実家の病院
は、伊豆の狩野川沿いにありました。私がま
だ生まれる前の昭和33年の狩野川台風で被
災し、医師である叔父と医学生であった従兄
が亡くなってしまい、病院も途絶えてしま
いました。このような話を早稲田文系の父から
聞かされて育ったため、いつの間にか医師を
志すようになっていたのかもしれませんが。以
上、少し「鎌倉殿の13人」に係る歴史の
話でした。

参考文献：吾妻鏡、平家物語、源平盛衰記、
聖医永田徳本伝、日本医家列伝